松前町商工会経済レポート(令和3年度第3四半期)

松前町商工会

本レポートは、愛媛県や中小企業庁が公表する各種経済動向調査の概要を四半期毎に取りまと め、報告するものです。

1. 最近の県内経済情勢

愛媛県では、各種経済指標や県内産業の動向をとりまとめ、毎月、月末をめどにホームページ 上で「最近の県内経済情勢」として公表しています。その中から、愛媛県の経済概況と、町内主 要産業別の状況を抜粋して掲載します。

(1) 愛媛県の経済概況

1 経済概況

新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱い動きがみら れるものの、緩やかに持ち直している。 前回との比較

〇個人消費

前回との比較



全体としては緩やかに持ち直している。

【百貨店・スーパー販売額】前年同月比1.5%増、5か月ぶりに前年を上回る。

【専門量販店販売額】 家電大型専門店、ホームセンターは2か月連続、

ドラッグストアは4か月連続で前年を上回る。

【コンビニエンスストア販売額】 2か月連続で前年を上回る。

【新車販売台数】普通乗用車は2か月連続、軽乗用車は5か月連続で前年を下回る。

〇住宅 · 公共工事

住宅着工は持ち直しの動きとなっている。

前回との比較 🛮 前回との比較



公共工事は弱い動きとなっている。

【新設住宅着工戸数】前年同月比12.5%減少、6か月ぶりに前年を下回る。

【公共工事】請負金額の前年同月比は22.3%減、3か月連続で前年を下回る。

〇生産活動

前回との比較



弱い動きが続いている。

【鉱工業生産指数】前年同月比(原指数)3.8%上昇、2か月ぶりに前年を上回る。 繊維、鉄鋼、電気機械等の業種で前年を上回る。 輸送機械、金属製品、パルプ・紙・紙加工品等の業種で前年を下回る。

〇雇用 · 所得

雇用情勢は、厳しさが残るものの、緩やかに持ち直している。今後も新 型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響に、より一層注意する必 要がある。 前回との比較

雇用者所得は概ね横ばい圏内の動きとなっている。

前回との比較

【有効求人倍率】 1.30倍と2か月連続で前月を上回り、5か月連続で前年を上回る。

【正社員有効求人倍率】1.14倍と、前年を上回る。

【現金給与総額】名目は横ばい

(資料) 愛媛県産業政策課「最近の県内経済情勢(令和3年11月分)」より転載 https://www.pref.ehime.jp/h30100/jousei/documents/031228kennaijousei.pdf (参照 2022-1-28)

(2) 地場産業の状況(令和3年7月~9月の状況)

| 業種 | 産業事情 |
|---------|-----------------------------------|
| 自動車関連 | 自動車関連は、一定の操業度を維持しているが、世界的な半導体不足によ |
| | り、今後の需要は不透明。 |
| | 中小鉄工は、新居浜地域・西条地域で、造船や運搬機器が低調であり、引 |
| 鉄工 | き続き 操業度を下げているが、一部で回復の兆しもみられる。 |
| <u></u> | 鉄構は、一定の操業度を維持しており、需要が停滞していた国内向けが回 |
| | 復傾向である。 |
| 陶磁器 | 陶磁器及び瓦は、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等の |
| 为可以农村中 | 開催回数の減を受け需要が減少し、操業度を下げている。 |
| | 珍味は、新型コロナウイルスの感染が落ち着きをみせているものの、飲食 |
| 珍味品 | 店向けや土産物などの販売が感染拡大前の水準には届いておらず、イベン |
| | ト等の中止もあったことから、やや操業度を下げている。 |
| | 陸運関係では、新型コロナウイルスの再拡大の懸念やイベント開催の減少 |
| 陸運関係 | 等により、需要が低迷している。 |

(資料) 愛媛県産業政策課「最近の県内経済情勢(令和3年11月分)」より抜粋して掲載 https://www.pref.ehime.jp/h30100/jousei/documents/031228kennaijousei.pdf (参照 2022-1-28)

2. 中小企業景況調査報告書

「中小企業景況調査」は、中小企業施策立案の基礎資料を収集するために、(独)中小企業基盤整備機構が四半期毎に実施、中小企業庁と同機構が共同で結果を取りまとめ、公表しています。

(1)業種別業況判断DIと天気図

「中小企業景況調査」では、業況判断DΙ調査が実施されています。

DIとは、前年同期と比べた今期の状況について、「増加(上昇、好転)」の割合から「減少(低下、悪化)」の割合を差し引いた値で、景況感の相対的な広がりを示すものです。

以下の記号とDI値の関係に基づいて、直近の調査報告データを視覚化してご紹介します。

<記号とDI値の関係>

| | 快晴 | | 晴 | 薄曇 | | 墨 | 雨 | | |
|--------|----------------|------------|----------------|----------------|------|----------------|---|--------|--|
| -(::)- | ∼ 30. 1 | \bigcirc | 30.0 | 10. 0 | وكي. | ▲ 10. 1 | | ▲30.1~ | |
| 741 | | 7 | ~ 10. 1 | ~ ▲10.0 |) | ~ ▲30.0 | 9 | | |

<業種別業況判断DIと天気図(2021年10-12月期)>

| | 食料品 | | 繊維工業 | | 木材・木製品 | | 家具・装備品 | | パルプ・紙・紙 加工品 | |
|----|------------|----------------|----------------------|----------------|---------|----------------|--------------|----------------|----------------|----------------|
| | ٩ | ▲ 21. 1 | rga. | ▲ 30. 9 | @ | ▲ 10.9 | & | ▲ 25. 9 | (3) | ▲6.6 |
| 製 | 印 | 刷 | 化学 | | 窯業・土石製品 | | 鉄鋼・3 | 非鉄金属 | 金属製品 | |
| 造業 | | ▲37.3 | (3) | ▲ 5. 6 | | ▲16.4 | (S) | ▲8.0 | | ▲15.1 |
| | 機械器具 | | 電気・情報通信機械 器具・電子部品 | | 輸送用機械器具 | | その他の製造業 | | | |
| | J | ▲ 11.5 | | ▲ 17. 0 | | ▲ 18. 0 | & | ▲ 22. 7 | | |
| | 建設業 | | 卸売業 | | 小売業 | | 宿泊業 | | 飲食業 | |
| 非 | <u></u> | ▲15.4 | | ▲ 21.9 | · G | ▲ 32. 9 | Q. | ▲ 26. 1 | æ. | ▲ 22. 3 |
| 製 | 対個人サービス | | 対個人サービス | | 対事業所サービ | | 対事業所サービ | | 情報通信·広告 業 | |
| 造 | 業 (生活関連) | | 業(自動車整備 | | ス業(運送・倉 | | ス業(専門技術 | | | |
| 業 | ※ 1 | | その他)※2 | | 庫)※3 | | その他)※4 | | 7 | |
| | @ | ▲ 24. 3 | ٩ | ▲26.3 | | ▲ 32. 9 | @ | ▲ 17. 6 | (E) | ▲8.4 |

- ※1「対個人サービス業(生活関連)」は、不動産業、洗濯・理容・美容・浴場業、その他の生活関連サービス業等の8業種。
- ※2「対個人サービス業(自動車整備その他)」は、自動車整備業、機械等修理業。
- ※3「対事業所サービス業(運送・倉庫)」は、道路旅客運送業、道路貨物運送業、倉庫業等の5業種。
- ※4「対事業所サービス業(専門技術その他)」は、専門サービス業、技術サービス業、廃棄物処理業等の5業種。
- (資料) 中小企業庁「第166回中小企業景況調査(2021年10-12月期)」より松前町商工会作成

(2)「調査対象企業のコメント」から見る経営上の問題点

- ・ コロナ感染者が減少したためか10月は利用客が増えましたが県民夏旅を利用された方が多く割り引き料金の入金が、一ケ月後で遣り繰りが大変です。GoToの再開を待っているのか11月~12月の予約は今のところ少な目です。「宿泊業 山形」
- ・ 受注増加傾向にも関わらず、製品納期の大幅遅延で資源高騰による資材価格の上昇によるコスト増加で工期の大幅延長に伴う受注変化のキャンセルのおそれが今後の心配材料と認識している。[建設業 千葉]
- ・ コロナ等の影響による半導体不足をはじめ、各原材料、部品の納期遅延、原油価格上昇 による仕入価格値上等を予測し、在庫確保等を検討しているが、将来的に利用先が決ま らず在庫過多とならないかを懸念している。[輸送用機械器具 愛知]
- ・ 海外からの製品輸入に関して、納期の不安定さから、輸入コストが増加傾向にある。品質管理はもちろん、納期管理にも注力しているところ。[卸売業 大阪]
- ・ コロナの状況が落ち着きだし、テイクアウトと通常の店の営業が重なり人の負担が大きくなりだした。人数制限等もあり店の回復には時間がかかりそうで、まだまだテイクアウトに委ねなければならない状況。「飲食業 山口
- ・ コロナ禍の影響が依然続いている。町のプレミアム商品券の施策は多少ありがたいが、 一昨年の売上にはほど遠い状況である。コロナは終息に向かっているが、以前の状態に 戻る事は期待できない。[小売業 愛媛]

(資料) 中小企業庁「第 166 回中小企業景況調査(2021 年 10-12 月期)」より抜粋

中小企業景況調査報告書【えひめ版】

愛媛県商工会連合会

全国商工会連合会では、四半期毎に景況調査を実施しており、本報告書は県内商工会地域の景気動向を【えひめ版】として作成したものです。

調査対象期間:令和3年度第3四半期(令和3年10月~12月期)

調査対象企業:150企業 **回答企業**:150企業

(製造業:30社 建設業:20社 小売業:42社 サービス業:58社)

D I 方式

DIとは、各調査項目について〔増加・上昇・好転〕の割合から〔減少・低下・悪化〕の割合を差し引いた値で〔景気動向指数〕を表しています。

*記号とDI値の関係



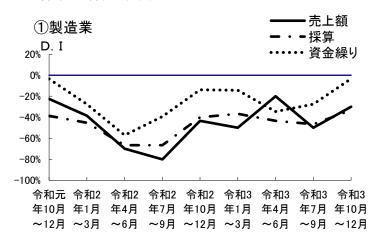
1. 業況判断DIと天気図(2年間の推移)

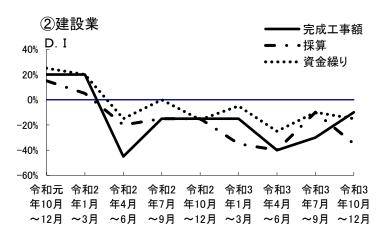
| | 業種別 | ①製造業 | | ②建設業 | | ③小売業 | | ④サービス業 | | 全体 | |
|----|-----------------|----------|---------------|------------|---------------|----------|---------------|----------|---------------|----------|--------------|
| | 令和元年 10~12月期 | <u></u> | ▲ 26.7 | (3) | 10.0 | A | ▲ 46.2 | @ | ▲ 25.4 | <u></u> | ▲ 22.1 |
| | 令和2年 1~3月期 | rgin | 4 43.3 | | 0.0 | * | ▲ 55.0 | ٩ | ▲ 23.7 | P | ▲ 30.5 |
| | 令和2年 4~6月期 | (F) | ▲ 69.0 | G) | ▲ 25.0 | | ▲ 77.5 | F | ▲ 60.3 | E | ▲ 58.0 |
| 期別 | 令和2年 7~9月期 | | ▲ 55.2 | ĠĴ | ▲ 20.0 | | ▲ 65.9 | | ▲ 54.2 | €. | 4 8.8 |
| | 令和2年 10~12月期 | E | ▲ 41.5 | Ş | ▲ 20.0 | | ▲ 64.2 | | ▲ 37.9 | €. | 4 0.9 |
| | 令和3年 1~3月期 | | ▲ 39.3 | | ▲ 20.0 | F | ▲ 53.7 | | ▲ 34.5 | | ▲ 36.9 |
| | 令和3年 4~6月期 | | 4 0.0 | | ▲ 25.0 | | ▲ 51.2 | ij | ▲ 28.1 | €. | ▲ 36.1 |
| | 令和3年 7~9月期 | | ▲ 43.3 | | 0.0 | ~ | ▲ 42.9 | | ▲ 43.1 | | ▲ 32.3 |
| | 令和3年 10~12月期 | | ▲ 33.3 | G) | ▲ 15.0 | F | ▲ 57.2 | | ▲ 39.7 | | ▲ 36.3 |
| | 令和4年 1~3月期 | <u></u> | ▲ 13.4 | € } | 4 0.0 | ,g | ▲ 52.4 | <u></u> | ▲ 29.3 | 4 | ▲ 33.8 |

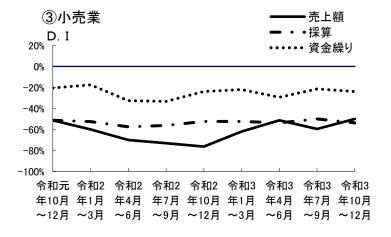
(注1) 業況判断DIポイント値は、前年同期と比較して業況が「好転」と答えた企業の割合から「悪化」と答えた企業の割合を引いたもの

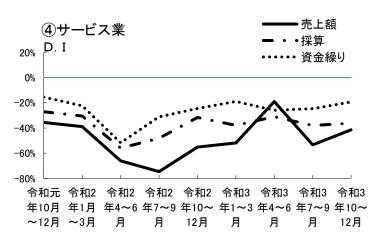
(注2)「全体」のポイント値は全業種の単純平均値

2.業種別景気動向









〈前期比〉

売上額 : 好転 (▲50.0→▲30.0ポイント) 採算 : 好転 (▲46.6→▲33.3ポイント) 資金繰り: 好転 (▲27.6→▲ 3.3ポイント)

<経営上の問題点>(順位と比率) 1位:原材料価格の上昇(30.8%) 2位:需要の停滞(26.9%)

〈前期比〉

完成工事額: 好転 (▲30.0→▲10.0ポイント) 採算 : 悪化 (▲10.0→▲35.0ポイント) 資金繰り : やや悪化(▲10.0→▲15.0ポイント)

<経営上の問題点>(順位と比率) 1位:材料価格の上昇(33.3%) 2位:従業員の確保難(20.0%

〈前期比〉

売上額 : やや好転 (▲59.5→▲50.0ポイント) 採算 : やや悪化 (▲50.0→▲53.7ポイント) 資金繰り: やや悪化 (▲21.4→▲23.8ポイント)

<経営上の問題点>(順位と比率) 1位:仕入単価の上昇(30.8%) 2位:需要の停滞(15.4%)

〈前期比〉

売上額 : 好転 (▲53.4→▲41.4ポイント) 採算 : やや好転 (▲38.0→▲36.2ポイント) 資金繰り: やや好転 (▲24.6→▲19.3ポイント)

〈経営上の問題点〉 (順位と比率)

1位:需要の停滞(25.9%)

2位:利用者ニーズの変化(16.7%)